

2021年2月19日

AI・画像解析アプリケーションで様々な活用シーンへの対応が容易になる

i-PRO AIネットワークカメラ向けにVieureka対応技術を開発



Vieureka 対応 i-PRO AI ネットワークカメラ

(左: WV-X2232LJ、右: WV-X1534LNJ)

パナソニック株式会社は、パナソニックi-PROセンシングソリューションズ株式会社と共同で、i-PRO EXTREMEシリーズAIネットワークカメラ*1 (以下、i-PRO AIカメラ) 向けに、Vieureka (ビューレカ) プラットフォーム (以下、Vieureka PF) の対応技術 (Vieureka Manager接続通信ソフトウェア) を開発しました。クラウドを活用してVieureka Managerに接続することで、i-PRO AIカメラ上でAI・画像解析アプリケーションの遠隔管理を可能にします。本機能は、2021年3月以降、5モデルの対象機種ごとに順次導入予定です。

今回の開発により、Vieurekaパートナーは、これまでのVieurekaカメラ (VRK-C201、C301) に加え、i-PRO AIカメラを用いたサービス開発・提供が可能になり、レンズ選定や屋外対応などi-PRO AIカメラの豊富なラインナップを活用することができます。これにより、店舗前の人数・車台数をカウントして店舗運営に活かしたい場合、屋外型カメラの選択が可能になるなど、様々なサービスの応用シーンが広がります。

さらに、従来からi-PRO EXTREMEシリーズをご活用いただいているi-PROパートナーには、Vieureka PFによるAIアプリケーションの遠隔管理や、Vieurekaパートナーが提供する新たなアプリケーションの利用が可能になります。遠隔管理はAIアプリケーションの強化学習 (Deep Learning) やチューニングを遠隔で行えるなど、アプリケーション開発のコスト削減に寄与します。また、従来、オンプレミス*2で現場に駆けつけて対応していた手法と比較して、運用コストを10分の1以下に削減することが可能です。

[Vieurekaプラットフォーム概要]

AI処理可能なVieurekaカメラと、カメラ上で実行されるAIベースのアプリケーションを遠隔から個別管理可能なクラウドベースのマネジメントソフト (Vieureka Manager) で構成。

[Vieurekaパートナープログラム概要]

インテグレータ、ハードウェアメーカー、AIエンジンメーカー様との共創を目指し、エンドユーザー様に多様なIoTの活用シーンを提供できるコミュニティ。当社とパートナー様との連携だけでなく、各々の分野で強みを持つパートナー様同士を繋げるエコシステムを構築し、技術サポートだけでなく、サービスローンチに向けたサポートなどを提供。現在、49社*3のパートナー企業が参画。

*1: 対応予定機種: WV-X2232LJ、WV-X1534LNJ、WV-X2533LNJ、WV-X2571LNJ、WV-X1571LNJ

*2: 自社内や運用する施設内にサーバを設置するシステム運用形態のこと。インターネット上にサーバを集約させるクラウドコンピューティングと対比される。

*3: 2021年2月19日時点

【Vieurekaに関するお問合せ】

info_vieureka@ml.jp.panasonic.com

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。
商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。